

2025年4月25日

来静外国人による静岡県内への経済波及効果は836億円

観光庁等によると、2024年の訪日外国人旅行者数は3,687万人とコロナ禍前を上回り過去最高を記録した。また、歴史的な円安が後押しとなり、訪日外国人1人当たり旅行支出は22万6,851円（19年比+43.1%）、訪日外国人旅行消費額は8兆1,257億円（同+68.8%）まで拡大している。

静岡県をみると、2024年の訪日外国人（以下、インバウンド）の訪問率は3.5%、訪問者（以下、来静外国人）数は推計126万人と、コロナ禍前の19年（同4.8%、142万人）に届いていない。従来、本県のインバウンド需要は中国人依存度が高く、中国政府による日本への団体旅行の禁止が約3年半に及んだほか、その後も中国景気の低迷や観光ビザの制約などが足かせになり、他国籍と比較して訪日中国人の回復が遅れていることが要因と考えられる。

一方、県内における消費単価は2024年に5万3,746円と、19年（3万1,127円）を+72.7%上回る水準で、訪問者数×消費単価で計算する旅行消費額は679億円と、19年（442億円）比で+53.6%増加している。

これらのデータをもとに、「平成27（2015）年静岡県産業連関表」を活用した分析モデルを用いて独自推計した結果、2024年の来静外国人の旅行消費による静岡県内への経済波及効果は836億円となった。なお、付加価値誘発額は467億円であった。

インバウンド拡大にはオーバーツーリズム（観光公害）等の問題が付きまとうが、人口減少の一途を辿る我が国において、世界の観光需要の取込みは経済成長のドライバーとなり得る。実際、宿泊や飲食サービスなどの対個人サービス業は、インバウンドの活発な消費行動が売上増大に直結しており、地方の経済活性化につながっている。

図表 来静外国人の旅行消費による静岡県内への経済波及効果

旅行消費額	直接効果	経済波及効果	経済波及効果		付加価値誘発額
			第1次生産誘発額	第2次生産誘発額	
679億円	566億円	836億円	733億円	104億円	467億円

資料：静岡県「平成27（2015）年静岡県産業連関表」などをもとに当所にて推計

本件のお問い合わせ先：主任研究員 岩本 真弥
研究員 中村 建太

図表 訪日外国人の静岡県への訪問者数および消費額

	2019年	2024年	構成比	19年比
訪問率	4.8%	3.5%	—	▲1.2 p
訪問者数 (万人)	142.1	126.4	—	▲11.1%
消費単価 (円/人)	31,127	53,746	100.0%	+72.7%
団体・パック参加費	7,449	6,239	11.6%	▲16.2%
宿泊費	7,992	16,871	31.4%	+111.1%
飲食費	5,291	9,104	16.9%	+72.1%
交通費	636	1,123	2.1%	+76.6%
娯楽等サービス費	801	1,537	2.9%	+91.9%
買物代	8,953	18,741	34.9%	+109.3%
その他	5	132	0.2%	+2540.0%
旅行消費額 (億円)	442.4	679.4	100.0%	+53.6%
団体・パック参加費	105.9	78.9	11.6%	▲25.5%
宿泊費	113.6	213.2	31.4%	+87.7%
飲食費	75.2	115.1	16.9%	+53.0%
交通費	9.0	14.2	2.1%	+57.0%
娯楽等サービス費	11.4	19.4	2.9%	+70.7%
買物代	127.2	236.9	34.9%	+86.2%
その他	0.1	1.7	0.2%	+2246.6%

資料：観光庁「インバウンド消費動向調査」をもとに当所作成

<参考> 経済波及効果のフロー

